

	重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画	活動の成果・振り返り
①	<p>テーマ：地域の見守りネットワークの構築</p> <p>【課題・背景】 地域の特性として、駅近隣は利便性が高く高齢になっても自立した生活が継続しやすいが困った時に地域とつながりがなく相談できない、民生委員の交代や欠員が多い地域もあり。身近な地域での見守りの重要度が増している。 地域での見守り体制の構築と、困った時に相談しやすい環境を整備していくことが必要である。</p> <p>【目標】 民生委員、地域住民、社協、見守り相談窓口、民間事業者などとの協働により顔の見える関係づくりから、地域の見守りネットワークを構築していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との地区連絡会をエリア別に開催。地域での見守り活動をより効果的かつ効率的に行うか、民生委員と見守り協力員との連携しながら地域をどのように見守るかなど検討していく。 ・地域住民との関係性を構築。社協・見守り相談窓口とも協働しながら地域住民との接点の機会を作り、それぞれの機関の周知とともに地域で必要な支援を確認していく。 ・前年度に実施した配食業者との交流会が地域の見守り体制強化として有効だったことを踏まえ、今年度は自費ヘルパーなど他の事業所も加えて、より地域の高齢者へ多角的な見守りと事業者間の連携を図る。 ・認知症カフェや元気チェックでの出張相談、圏域内で活動している20か所弱のサロンを訪問により、顔の見える関係をつくり身近な相談窓口として包括の周知を図りネットワーク構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1エリアは8月・1月に実施。上半期では民生委員から包括へつないだ事例について、その後に包括がどのように判断してどの制度につなげるかを紹介。下半期では妄想のある方への関わりをテーマに桜ヶ丘記念病院の精神科医による講座を開催。それぞれ後半ではグループワークを行い、テーマに関連した日常の活動での思いを共有した。 ・第5エリアは12月に実施。消費者被害の実例や相談先について共有。地域の最新情報や、民生委員の個々の活動状況をお互いに共有できた。 ・都営団地の移転があった愛宕4丁目について、あたご第1ブロック自治会と包括・第2層SC・見守り相談窓口で移転後の状況について情報共有。意見箱を設置して住民からの意見聴取、見守り相談窓口の実態把握調査の結果も踏まえ、コミュニティ再生のため住民同士がつながる場の必要性を確認できた。次年度の活動につなげていく。 ・見守り機能のある民間業者との情報交換会については配食業者に加え自費ヘルパーの事業所も多数参加。それぞれの特徴や得意とするサービスを共有ができた。次年度は地域の見守り活動の最前線でもある配食業者と地域と密接している民生委員との情報共有の場を持ち、見守りネットワークの構築を図る。

(認知症重点目標)

	重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画	活動の成果・振り返り
②	<p>テーマ：認知症の方への地域の理解と集う場の継続</p> <p>【課題・背景】</p> <p>高齢化が進行し認知症に関する相談が増えて いる中で、認知症になつても安心して暮らし 続けられる共生社会の実現に向けた地域づくりが 必要とされている。</p> <p>そのためには、地域住民の認知症の方への理 解と、認知症の初期段階で孤立しないように地 域で集える場などの地域づくりが重要である。</p> <p>【目標】</p> <p>認知症の方への理解を地域住民に深めてもら う。認知機能が低下した高齢者が地域で集う場 を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内のサロンを訪問。地域住民と顔の見える関係を構築しながら、ミニ講座で認知症についても触れつつアプローチしていく。その過程を通して認知症センター養成講座の開催やチームオレンジ結成の働きかけとして人材発掘なども行う。 ・ 永年の活動により定着した「すみれカフェえがお」、新規立ち上げしたばかりの「カフェあたご」の2か所の認知症カフェについて、出張相談も兼ねて参加しながら支援していく。 ・ 定期的な元気チェックを実施。地域住民との交流により認知症の疑われる方も含め早期発見・早期対応を行う。コミュニティセンター・介護予防リーダーなど地域住民との協働にて、認知機能が低下した高齢者の集う場を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域内のサロンなど通いの場の団体にあいさつ回りをして顔の見える関係を構築。認知症を知る月間では近トレや体操教室などを訪問し認知症への理解の普及啓発を実施。来年度に向けては、通いの場からの離脱を回避できる環境づくりのため、近トレ団体を中心にミニ講座などできるとよい。 ・ すみれカフェえがお、カフェあたごの認知症カフェについては出張相談を兼ねて参加継続。すみれカフェえがおについては、認知症センター養成講座を実施。来年度に向けてステップアップ講座を西部包括と合同にて企画実施予定。カフェあたごについては、R6年1月に立ち上げ今年度から新体制で実施してきた振り返りを行い、次年度につなげていく。 ・ 元気チェックは第1エリアで4回（つむぎ館）、第5エリアで4回（かえで館、愛宕支所）実施。新規の参加者やリピーターも増えている。つむぎ館で元気チェックと併せて実施している「やさしい脳トレ運動」については、次年度は自主グループ化することも視野に入れ活動していく。

令和6年度 北部地域包括支援センター活動計画

令和6年度地域包括支援センターの運営方針に基づき、下記のとおり計画を策定する。

1 総合相談支援業務

【活動方針】

地域の高齢化がすすみ高齢者世帯も増加する中で、地域の見守りにより早期発見され相談につながるケースも多くあり、民生委員との地区連絡会ではエリア別に地域での見守り活動について検討する。また、身近に相談できる場として地域に出向き出張相談を兼ねた認知症カフェの参加や元気チェックなどの活動も継続して行う。

＜必須項目＞

【項目】地域特性に応じたテーマを設定した民生委員連絡会の開催	目安根拠:圏域で1回(地域課題会議と兼用開催可)	目標値	実績
【実施手段】(テーマ案:地域での見守り活動について) 第1エリア(関戸・一ノ宮)、第5エリア(愛宕・乞田)のエリア別に開催。地域での見守り活動をより効果的かつ効率的に行うか、民生委員と見守り協力員との連携しながら地域をどのように見守るかなど検討。		2回 (目安1回)	3回

【年間振り返り】

第1エリア(関戸・一ノ宮)は8月・1月に実施。上半期では民生委員から包括へつないだ事例について、その後に包括がどのように判断してどの制度につなげるかを紹介、下半期では妄想のある方への関わりをテーマに桜ヶ丘記念病院の精神科医による講座を開催。それぞれ後半ではグループワークを行い、テーマに関連した日常の活動での思いを共有。

第5エリア(愛宕・乞田)は12月に実施。消費者被害の実例や相談先について共有。地域の最新情報や、民生委員の個々の活動状況をお互いに共有することができた。

【項目】出張相談会の開催	目安根拠:月1回	目標値	実績																																																								
【実施手段】																																																											
認知症カフェ(すみれカフェえがお、カフェあたご)、元気チェック(かえで館)にて実施。身近に相談できる場として地域に出向き、地域包括支援センターの周知を図るとともに、ちょっとした困りごとの相談から必要に応じてその後の相談対応につなげていく。																																																											
スケジュール																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>日時</th><th>場所</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td><td>10日(水)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>5月</td><td>8日(水)10:00～12:00 16日(木)10:00～11:30 27日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン</td><td>カフェあたご 元気チェック すみれカフェ</td></tr> <tr> <td>6月</td><td>12日(水)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>7月</td><td>15日(土)10:00～12:00 22日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン</td><td>カフェあたご すみれカフェ</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>17日(土)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>9月</td><td>21日(土)10:00～12:00 30日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン</td><td>カフェあたご すみれカフェ</td></tr> </tbody> </table>	月	日時	場所	備考	4月	10日(水)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	5月	8日(水)10:00～12:00 16日(木)10:00～11:30 27日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン	カフェあたご 元気チェック すみれカフェ	6月	12日(水)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	7月	15日(土)10:00～12:00 22日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ	8月	17日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	9月	21日(土)10:00～12:00 30日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>日時</th><th>場所</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td><td>12日(土)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>16日(土)10:00～12:00 21日(木)10:00～11:30 25日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン</td><td>カフェあたご 元気チェック すみれカフェ</td></tr> <tr> <td>12月</td><td>21日(土)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>1月</td><td>18日(土)10:00～12:00 27日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン</td><td>カフェあたご すみれカフェ</td></tr> <tr> <td>2月</td><td>15日(土)10:00～12:00</td><td>愛宕コミュニティプレイス</td><td>カフェあたご</td></tr> <tr> <td>3月</td><td>15日(土)10:00～12:00 24日(月)15:00～16:30</td><td>愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン</td><td>カフェあたご すみれカフェ</td></tr> </tbody> </table>	月	日時	場所	備考	10月	12日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	11月	16日(土)10:00～12:00 21日(木)10:00～11:30 25日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン	カフェあたご 元気チェック すみれカフェ	12月	21日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	1月	18日(土)10:00～12:00 27日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ	2月	15日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご	3月	15日(土)10:00～12:00 24日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ	12回 (目安12回)	20回
月	日時	場所	備考																																																								
4月	10日(水)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
5月	8日(水)10:00～12:00 16日(木)10:00～11:30 27日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン	カフェあたご 元気チェック すみれカフェ																																																								
6月	12日(水)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
7月	15日(土)10:00～12:00 22日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ																																																								
8月	17日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
9月	21日(土)10:00～12:00 30日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ																																																								
月	日時	場所	備考																																																								
10月	12日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
11月	16日(土)10:00～12:00 21日(木)10:00～11:30 25日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス かえで館 カフェシナモン	カフェあたご 元気チェック すみれカフェ																																																								
12月	21日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
1月	18日(土)10:00～12:00 27日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ																																																								
2月	15日(土)10:00～12:00	愛宕コミュニティプレイス	カフェあたご																																																								
3月	15日(土)10:00～12:00 24日(月)15:00～16:30	愛宕コミュニティプレイス カフェシナモン	カフェあたご すみれカフェ																																																								
【年間振り返り】																																																											
認知症カフェ2か所で計18回、かえで館での元気チェックで計2回、合計20回の出張相談を実施。																																																											

【項目】地域住民との関係性構築の支援	目標値	実績
【実施手段】		
社協・見守り相談窓口とも協働しながら地域住民との接点の機会を作り、それぞれの機関の周知とともに地域で必要な支援を確認しながら、対応策を検討していく。	2回	2回
【年間振り返り】		
都営団地の移転があった愛宕4丁目について、あたご第1ブロック自治会と包括・第2層SC・見守り相談窓口で移転後の状況について情報共有。意見箱を設置して住民からの意見聴取、見守り相談窓口の実態把握調査の結果も踏まえ、コミュニティ再生のため住民同士がつながる場の必要性を確認できた。次年度の活動につなげていく。		

2 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害

【活動方針】

高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し生活していくために、権利擁護支援、虐待対応、消費者被害防止など行う。親族の支援が受けられない独居高齢者などが安心して生活できる社会資源の勉強会を行い地域住民に向けて権利擁護の普及啓発を図る。また、消費者被害について地域住民への講座など行い被害防止の普及啓発にも取り組む。

＜必須項目＞

【項目】 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害に関する勉強会開催数	目安根拠:上下半期に1回	目標値	実績
【実施手段】 親族の支援が受けられない独居高齢者などが安心して生活できるように、地域住民に向けた「高齢者あんしんサポート事業」についての講座を権利擁護センターに講師依頼し開催。また、消費者被害防止について地域住民に向けた講座を行政書士会へ講師依頼し、コミュニティセンターとの協働にて開催。	2 件 (目安 2 件)	2 件	

【年間振り返り】

8月に地域住民向けに行政書士による消費者被害防止に関する講座を開催。11月に企画予定していた地域住民向け「高齢者あんしんサポート事業」の講座については権利擁護センターの都合で開催には至らず。予定を変更して12月に民生委員に向けた消費者被害防止に関する勉強会を実施。

＜任意項目＞

【項目】 コミュニティセンターと共同で地域の防犯力を高めるための講座開催	目標値	実績
【実施手段】 多摩中央警察署へ講師依頼し開催。多摩市で起きている被害状況など警察から直接話を聞くことでより具体化され、コミュニティセンターと共同開催することで地域での防犯力を高める。	1 件	2 件

【年間振り返り】

多摩中央警察署特殊詐欺対策課へコミュニティセンターでの講座を依頼。かえで館にて11月の元気チェック開始前に講座を実施、つむぎ館にて3月にも講座を実施した。消費者被害、特殊詐欺など身近な地域での具体的な被害状況など共有し注意喚起ができた。

3 介護予防ケアマネジメント業務(第1号介護予防支援事業)

【活動方針】

危険な老化のサインに早期に気づきフレイル予防に取り組むことが重要と思われる。フレイルのリスクが高い高齢者を地域の社会資源や総合事業につなぎ、地域住民・第2層生活支援コーディネーター・見守り相談窓口との協働により地域の介護予防を推進する。介護予防ケアマネジメントにおいては適切なアセスメントのもと、高齢者の自己実現につながる自立に向けた支援を行う。

＜必須項目＞

【項目】通所型短期集中予防サービス(元気塾)利用人数	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
【実施手段】 短期集中で専門的なリハビリが必要な対象者を元気塾へつなぐ。包括で実施する元気チェックから介護予防が必要と思われる対象者をつなぎ、予防プランを委託している介護支援専門員にも元気塾の周知をして活用を促す。		29人 (目安29人)	21人
【年間振り返り】 事業対象者や要支援の認定を受けた方の中で、自己通所できる強みがある高齢者にはその強みを活かし元気塾の利用につなげた。			

【項目】通所型短期集中予防サービス(元気塾)から地域介護予防教室等の地域活動につなぐ人数	市設定目標の根拠:利用者の7割を想定	目標値	実績
【実施手段】 介護予防リーダーの地域介護予防教室のほか、サロンや老人クラブなど地域の社会資源へつなぐ。		20人 (目安20人)	12人
【年間振り返り】 元気塾卒業後に地域活動につないだケースは12人。内訳は、元気塾から地域介護予防教室へにつないだケースは7人、近所 de 元気アップトレーニング、サロン、元気塾でのボランティアなどの地域活動につないだケースは5人。その他、デイサービスに移行したケースが1人。			

【項目】住民主体による訪問型サービス利用人数	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
【実施手段】 住民主体による訪問型サービス以外のインフォーマルサービス(たすけあい活動、自費ヘルパー、配達サービスなど)も活用していく。また、本人の状況に応じて自立支援の視点から訪問型サービスからの移行も検討する。予防プランを委託している介護支援専門員にも住民主体による訪問型サービスを周知して活用を促す。		14人 (目安14人)	25人
【年間振り返り】 生活支援が必要な新規利用者から適切なアセスメントのもと順次つなぐことができた。委託プランでも2件の利用あり。利用者の身体状況低下により要介護となりヘルパー事業所へ移行したケースや、サポートの調整がつかずヘルパー事業所を利用せざるを得ないケースもあり。			

【項目】地域包括支援センター主催による介護予防講座等の開催	市設定目標の根拠:実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 定期的な元気チェックを実施。コミュニティセンターや介護予防リーダーなどの地域住民や、見守り相談窓口と連携しながら、介護予防の普及啓発を推進していく。第1エリア(関戸・一ノ宮)、第5エリア(愛宕・乞田)で各々4回ずつの開催を予定。		8回 (目安2回)	8回
【年間振り返り】 第1エリアで4回(つむぎ館)、第5エリアで4回(かえで館、愛宕支所)実施。新規の参加者やリピーターも多く、とくにリピーターについては元気チェックの測定結果記録(筋肉量、握力など)が蓄積され、自身の状態を知り介護予防のモチベーション維持に役立っていると思われる。つむぎ館で元気チェックと併せて実施している「やさしい脳トレ運動」については、次年度は自主グループ化することも視野に入れ活動していく。			

【項目】元気塾リハビリテーション専門職訪問同行支援の利用	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
【実施手段】 リハビリテーションに関して身体的な評価や助言が必要なケース、市の一般福祉サービスの住宅改修や日常生活用具給付を申請するケースなどについて、リハビリテーション専門職の訪問同行支援を活用する。		10回 (目安10回)	15回
【年間振り返り】 元気塾のリハビリテーション専門職と同行し、身体状況の評価、自主トレーニングの助言、サービス選択(元気塾、通所、訪問など)の助言、住宅改修・用具選定など環境整備の助言など、利用者・家族と共有しQOL向上やケアマネジメントに役立てることができた。			

【項目】介護予防給付において特定のサービス事業所に偏らない	市設定目標の根拠:他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 適切なアセスメントのもと、利用者の目標が達成できるように利用者と相談しながらサービス事業所を選定していく。		占有率 50%未満	50%未満
【年間振り返り】 適切なアセスメントのもと、利用者の目標が達成できるように利用者と相談しながら、特定の事業所に偏りなくサービス事業所を選定できている。訪問型サービス、通所型サービスでの入浴介助など要支援の対応枠がなく調整が難航するケースが目立つ。			

【項目】居宅支援事業所に委託する際は特定の事業所に偏らない	市設定目標の根拠:他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 個々のケースにより適切な委託先を選定し、利用者へ情報提供を実施。		占有率 40%未満	40%未満
【年間振り返り】 特定の事業所に偏りなく委託しているが、委託が可能な事業所が確実に少なくなっている状況あり。新規の予防プランほぼ委託ができない状況が続いている。			

＜任意項目＞

【項目】	自立支援に向けた地域資源の活用についての勉強会	目標値	実績
【実施手段】	介護支援専門員が多様なインフォーマルサービスを有効に活用し、自立支援につながるケアマネジメントのスキルアップを図る。	1回	1回
【年間振り返り】	<p>介護支援専門員と自費事業者との情報交換・交流会を6月に開催。自費事業者については配食業者、栄養ケアステーション、自費ヘルパーなど8事業所が参加。介護保険サービスの隙間を対応する多様なインフォーマルなサービスについて理解する機会となった。次年度については、日頃の介入困難ケースから課題をピックアップしアルコール性認知症の初期介入等について理解を深める内容の講座を検討する。</p>		

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

【活動方針】

地域ケア会議(個別ケース会議、地域課題会議、自立支援マネジメント会議)を活用しながら、地域包括ケアを推進していく。困難ケースなどの課題解決に向け、居宅介護支援事業所と連携して介護支援専門員の支援を行う。

＜必須項目＞

【項目】	支援困難事例等に対する居宅介護支援事業所支援ケース数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
【実施手段】	多問題世帯、認知症、権利擁護などの問題を抱えた困難ケースについて、居宅介護支援事業所と連携して介護支援専門員の支援をしながら課題解決していく。ケース管理表を活用して件数など把握する。	5 件 (目安 5 件)	8 件	
【年間振り返り】	<p>市基幹型包括とのケース確認会にて進捗状況を確認しながら支援を実施。支援困難ケースについて、地域ケア会議の活用や医療や権利擁護の専門機関などへの調整を行い、居宅介護支援事業所と連携して介護支援専門員の支援を図ることができた。</p>			

【項目】地域課題会議(わがまちミーティング)の実施	目安根拠: 圏域で1件	目標値	実績
【実施手段】 地域課題調整会議で抽出した課題をベースとして、社協の地域福祉推進員会や民生委員との地区連絡会などで地域住民とともに各エリア別に地域課題の解決に取り組む。	2 件 (目安 1 件)	1 件	
【年間振り返り】 地域課題調整会議Ⅰの結果により【認知症になっても暮らしやすいまち】をテーマに西部包括と合同で実施した。聖蹟桜ヶ丘駅周辺は商業施設が多く存在し、認知症の方がトラブルに発展する可能性がある為、民生委員やサロン、見守り協力員、介護事業所、飲食店等が参加して有意義な意見交換が行えた。			

【項目】個別地域ケア会議(にこにこ・らくらくミーティング)の実施	目安根拠: 実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 日常業務の中から、介護支援専門員の対応困難な事例や地域や関係機関と連携しながら地域包括ケアが推進できるような事例を選定し、地域ケア会議を開催。	5 件 (目安 5 件)	7 件	
【年間振り返り】 独居高齢者の意思決定支援・転居について、認知症高齢者の意思決定支援、認知症高齢者の意思決定支援・今後の居所について、軽度者対応の電動車いすレンタルについて、長期ショートステイ利用中の高齢者の支援について、地域ケア会議を活用しながら関係機関と解決策や役割分担を検討した。			

【項目】自立支援ケアマネジメント会議(ぐつどらいふミーティング)の実施	目安根拠:4ヶ月に1件	目標値	実績
【実施手段】 新規の介護予防プランなどの自立支援に向けた個別課題の検討や自立支援を阻害している地域課題の抽出を包括内で共有しながら選定会議を毎月実施。選定会議の蓄積からケースを選定し、社協の地域福祉コーディネーター・第2層生活支援コーディネーター及びケースに応じて必要な専門職のスーパーバイザーなど収集のうえ、ぐつどらいふミーティングを開催。		3件 (目安3件)	3件
【年間振り返り】 リウマチ疾患のある独居高齢者の支援について、ケアマネから引継ぎの独居高齢者の自立支援について、自立支援に向けて専門職による短期集中の訪問型サービスがあるとよいケースなどについて検討。短期集中の訪問型サービスについては利用が想定されるケースについて情報を蓄積し、市や第1層SCへ提案していく。			

＜任意項目＞

【項目】見守り機能のある民間事業所向けの情報交換会	目標値	実績
【実施手段】 前年度に実施した配食業者との交流会が地域の見守り体制強化として有効だったことを踏まえ、今年度は自費ヘルパーなど他の事業所も加えて、より地域の高齢者へ多角的な見守りと事業者間の連携を図る。	1回	1回
【年間振り返り】 今年度は配食業者に加え自費ヘルパーの事業所も多数参加あり、それぞれの特徴や得意とするサービスを共有することができた。次年度は地域の見守り活動の最前線でもある配食業者と地域と密接している民生委員との情報共有の場を持ち、【食の確保】と【見守り】をテーマに見守りネットワークの構築を図る。		

5 認知症施策の推進

【活動方針】

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた場所でより良い環境で自分らしく暮らし続けられるよう支援を行う。チームオレンジ結成のための働きかけでは圏域内のサロンを訪問して地域住民と顔の見える関係を構築しながら、ミニ講座で認知症についても触れつつアプローチしていく。また、認知症カフェの支援も継続して行っていく。

＜必須項目＞

【項目】コーディネート(社会参加・孤立予防等)が必要な認知症高齢者に関する個別地域ケア会議の開催件数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 介護支援専門員や地域住民、関係機関などからの相談があった認知症高齢者の事例から選定のうえ、個別地域ケア会議を実施。		1件 (目安1件)	4件
【年間振り返り】 認知症高齢者の意思決定支援や今後の居所について、個別地域ケア会議を開催して認知症支援について検討した。			

【項目】新規団体への認知症講座(認知症サポーター養成講座、その他認知症講座)の実施	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 認知症を知る月間のイベントとして認知症に関する講座などを企画実施。新規団体への認知症講座については、地域の状況を把握しながら必要な団体へアプローチしていく。		1回 (目安1件)	1回
【年間振り返り】 新規団体については「すみれカフェえがお」にて西部包括と合同にてサポーター養成講座を8月に実施。その後に9月に開催された市主催のステップアップ講座に参加したメンバーもあり、オレンジパートナーの登録にもつながった。その他、7~9月にかけて認知症を知る月間を中心としたイベントを実施。多世代への普及啓発として、おれんじランプ工作を通じて、子どもとその親世代にアプローチすることができた。また、11月のわがまちミーティングでは、看護小規模多機能施設から講師を招き、地域のサロンと連携しながら介護保険サービスを利用して在宅生活を送った独居の認知症高齢者の事例を紹介し、認知症があっても地域とのつながりが重要であることを地域住民と共有した。			

【項目】チームオレンジ結成のための働きかけ実施	目安根拠:運営方針に準ずる	目標値	実績
【実施手段】 圏域内のサロンを訪問。地域住民と顔の見える関係を構築しながら、ミニ講座で認知症についても触れつつアプローチしていく。その過程を通して認知症サポーター養成講座の開催や人材発掘なども行う。		12回 (目安1件)	16回
【年間振り返り】 圏域内のサロンなど通いの場の団体にあいさつ回りをして顔の見える関係を構築。認知症を知る月間では近トレや体操教室などを訪問し認知症への理解の普及啓発を実施した。来年度に向けては認通の事業変更に伴い、通いの場からの離脱を回避できる環境づくりのため、近トレ団体を中心にミニ講座などできるとよい。また、すみれカフェえがおの認知症カフェについては、ステップアップ講座の希望もあり、西部包括と合同で次年度に企画実施していく。			

＜任意項目＞

【項目】認知症カフェの支援	目標値	実績
【実施手段】 永年の活動により定着した「すみれカフェえがお」、新規立ち上げしたばかりの「カフェあたご」の2か所の認知症カフェについて、出張相談も兼ねて参加しながら支援していく。	18回	18回
【年間振り返り】 すみれカフェえがお、カフェあたごの認知症カフェについては出張相談を兼ねて参加継続。すみれカフェえがおについては、来年度に向けてステップアップ講座を西部包括と合同にて企画実施していく。カフェあたごについては、R6年1月に立ち上げ今年度から新体制で実施してきた振り返りを行い次年度につなげていく。		

6 第2層生活支援体制整備事業

【活動方針】

多様な主体による互助を基本とした多様な生活支援・介護予防サービスを充実させるとともに、それらのサービスの担い手として高齢者の社会参加を促進し、地域の支え合いの体制づくりを推進していく。

＜必須項目＞

【項目】地域課題の把握、整理	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<p>【実施手段】</p> <p>圏域内で活動している20か所弱のサロンを訪問。住民視点での地域課題を聴取のうえ、圏域内の地域課題の把握や整理を行う。</p> <p>また第1層生活支援コーディネーターと連携し、民間サービスも含めた地域の社会資源の整理を行う。</p>		実施	実施
<p>【年間振り返り】</p> <p>圏域内のサロン 16 力所について訪問や地域福祉推進委員会を通じてあいさつし様子伺い。今後は通いの場戦略会議のミッションとして来年度上半期までに圏域内 30 力所の通いの場(老人クラブ・自主グループを含め)活動状況の把握整理していく。</p>			

【項目】近所 de 元気アップトレーニング新規立ち上げ団体数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<p>【実施手段】</p> <p>通いの場がない又は少ない地域課題を考慮しながら、担い手の人材発掘も行いつつ、近所de元気アップトレーニングの新規団体立ち上げをすすめていく。</p>		1 団体 (目安 1 団体)	1 团体
<p>【年間振り返り】</p> <p>近所de元気アップトレーニングについては見守り協力員が発起人となり豊ヶ丘 1 丁目の集合住宅で 10 月に新規団体の立ち上げ。都営団地の移転があった愛宕 4 丁目については市の方針で体操教室の立ち上げとなり、介護予防リーダーと自治会の仲介を行い 12 月に話し合いの場を設定し、来年度 4 月に教室が立ち上がる予定となった。</p>			

【項目】近所 de 元気アップトレーニング説明会開催数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
【実施手段】 地域の社会資源の現状を把握・分析しながら、市・社協との協働により、近所de元気アップトレーニング説明会を開催する。		1回 (目安1回)	1回
【年間振り返り】			
通いの場の社会資源の少なかった豊ヶ丘1丁目において、見守り協力員や自治会防災担当の協力も得て8月に近所de元気アップトレーニング説明会を開催することができた。			

【項目】地域課題調整会議Ⅰの開催件数	目安根拠:4ヶ月に1回	目標値	実績
【実施手段】 ぐつどらいふミーティングのケース選定会議に合わせて実施。包括のぐつどらいふ・にこにこ・らくらくミーティングなど個別ケース会議と第2層生活支援コーディネーターの地域の積み重ねから発見される地域課題を共有し整理する。		3回 (目安3回)	4回
【年間振り返り】			
聖蹟桜ヶ丘の駅周辺の商業施設が多い地域特性から認知症があると様々な困りごとやトラブルなどの場面がある課題から、認知症になっても暮らしてやすいまちについてわがまちミーティングを開催。民生委員やサロン、見守り協力員、介護事業所、飲食店等が参加して有意義な意見交換が行えた。また、都営団地の移転があった愛宕4丁目について移転後の状況が把握できていない課題から、自治会からの聴取や意見箱を設置し住民からの意見を収集、見守り相談窓口による実態把握調査などから状況を把握。			

【項目】生活支援コーディネーター連絡会の参加件数	目安根拠:月1回	目標値	実績
【実施手段】 市及び第1層生活支援コーディネーターとの連絡会に参加し、業務の進捗状況や課題を共有することで業務の円滑な遂行につなげる。また、第2層生活支援コーディネーター間の連絡会に参加しコーディネーター間の連携体制を構築する。	12回 (目安12回)	14回	
【年間振り返り】 SC 定例会 11回、2層 SC 情報交換会 2回、他市 SC との情報交換会 1回に参加。業務の円滑な遂行や連携体制の構築を図ることができた。			

＜任意項目＞

【項目】担い手の人材発掘	目標値	実績
【実施手段】 見守り協力員・生活支援センター・オレンジパートナーなどについては、育成や登録後に実際の活動につながっていない方も多くモチベーション低下が懸念される現状を踏まえ、その方々の思いを確認するアンケート調査を実施する。その方々の強み・してみたいことなど聴取することで、地域で必要な社会資源の担い手としてマッチングに役立てる。	実施	実施
【年間振り返り】 見守り窓口との協働にて、地域活動に関心のある見守り協力員とのヒアリングから近トレを提案し活動を立ち上げることができた。また、オレンジパートナーとは認知症を知る月間のイベントの協力依頼をきっかけに認知症カフェのサポートにつなぐことができた。見守り協力員の多くが地域に対しての思いがあり担い手となる可能性があるため、次年度は個別に協力員へ面談にてヒアリングをすすめていく。		